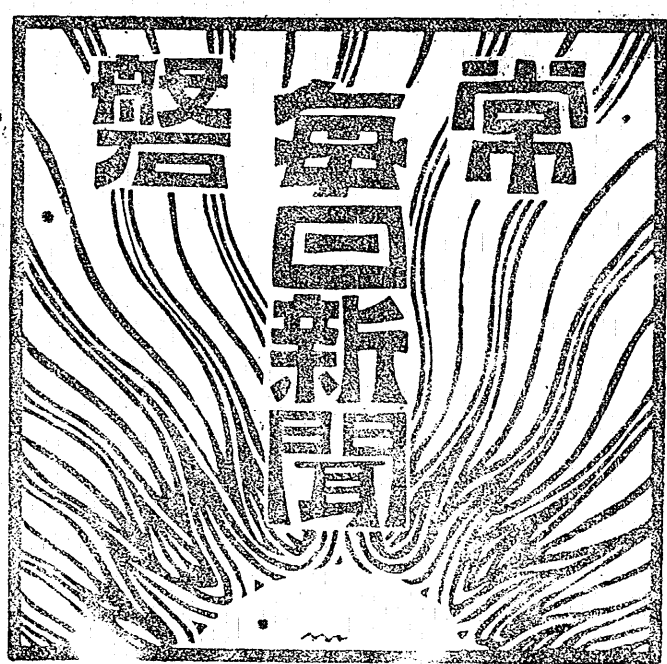


日刊

發行所 東京 人川 文治 本社 同前地 (電話六三〇番) 印刷所 東京 毎日印刷



刊夕日九月六

定価 一紙金五銭 一月金一元二角 三月金三元五角 半年金六元五角 一年金十二元 郵税別 送料別 日刊 日曜大衆 発行所 東京 毎日印刷 電話六三〇番

常盤論壇 (處世哲學の一片) 清 陰 生

斯くて年を閲するに随ひ人生は到底意の如くならざるを悟り、遂に半信半疑の人生觀、半眞半戲の社會觀を懷にく至るのである。然らば青年時代の希望理想は、全然空虚のユートピアにして半眞半戲の世態を以て實相なりとすべきや如何、青年期は哲學の時代、小説の時代、空想の時代である。其の思想感情は單純にして

邪氣なく、未だ實際社會の構成せらるゝ要素を知らず人間の生活過程を経験せざる時にして、偏に世間見すのユートピアに耽るを能とする。故に世界的統一を夢み宇宙萬有を吞吐する如き氣焔を有する然るに實際の社會は主として事實と經驗と習慣と勢力とより成りて復雜なるものである。表と裏に裏ある、眞と共に偽あり、善と共に惡あり、美と共に醜ある。各自は皆な生活を中心として隠現出沒其の底止する所を知らぬので敵か味方か、味方か敵かさへ判じ兼ねるものである。試みに思へ、政治家などと

云へば國民の生活を安定せしむる職能に忠實なるものと見做さるが、之は單に表面のことにして其の裏面は國家の名の下に利權を縦にせんとするが多數である。政黨者流の行動を一瞥すれば思ひ半ばに過ぎよう、宗教家と云へば神佛の道を傳へて、人生を安心立命の地に導き、人類愛を唱道して四海同胞の實現を期し、身を捨て、仁を行ふ聖者の如く粧ふは單に表面である。其の裏面は神佛の名を唱するを業とする者である。



五月 武者人形 小道具一式 大廉賣! 平町二丁目 いづや 電話六四九番

自然に 輕快味湧き出る 夏の帽子 麥一文字帽と 可愛お子さん方の 麥帽子も種々 新らしい形が 陳列して有ります 平町四丁目 ツルヤ商店 電話百四十番

理想的耐水耐熱接合劑 キングパスト 水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑 一名コナニカワ 四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的 です 理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し 小野屋藥店 電話四四番

花柳科專門 木村外科醫院 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 佐川齒科醫院 院長 醫學士 佐川 涉 (電七五九)

開店御披露 美味...大量...時節柄...安値 御試食の上...御談判を 出前迅速...一品配達歡迎 大塚豚肉問屋...直營 カフェー 幸樂 豚肉年中無休販賣 平町六丁目電話五三九へ 磬城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目(電三)

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番 美味 評判 イロキ食堂 オの部電話四六〇番 平町紺屋町(縣社通り)

御進物には ヤマフルの商品券が一番 醬油味噌 たひら正宗 鯉節食料品 鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部)一〇番 (醸造工場)二七番

新築移轉 耳鼻咽喉科專門 場所 (舊診療所裏通り) 合津醫院 平町仲田町(電話五五九)

金牌受領 銀牌受領 草野染工場 平町(電話三四八番) 切斷の苦しみなく... 靈藥ムテキ 發賣元 阿康藥店 縣社下古鍛冶町(電話四四番) スグキク 風、頭痛 効力本位 神經痛 ラヒト 有偽物要注意

製糸工場實現せば 女工約一千を要す

市制實施速進の一助に 地方民早くこ希ふ

平町に組合製糸工場設立に
關しては既報の如く再三片
倉組に於て水質試験、繭の
輸送關係その他の必要條件
を

調査の結果

よ設立することとなり過日
藤森建築課長の一行が來平
敷地の實地踏査をなした結
果月見町七千坪を工場敷地
と決定、目下同社に於て定
款の作製中であるがその定
款に基いて更に片倉組と石
城製絲同業組合、石城販賣
利用組合及び平町側とが會
合最後の

決定を

なして愈々
株式の公募に入る段取りで
あるが資本金は最初百萬圓
の計畫であつたが將來の設
備その他の關係で倍額の二
百萬圓となすこととなり株式
四萬株のうち二萬株は片倉
組に於て引受け平町側では
殘株二萬株を公募する契約
であるが目下

平町側の公募計畫

としては同製糸場を利用す
る養蠶家が石城郡六千戸双
葉郡六千計一萬二千戸餘に
達してゐるので一戸二株づ
つ應募するとしても優に資
任應募數二萬株を公募し得
る豫定であるが農村方面の
悲境困難は全くその絶頂に
ある今日果して側で計畫
した通り

元郡役所を

製糸工場の 創立事務所

片倉製絲株式會社設置
に就いては既報の通りで總
ての案も決定したので今後
はいよいよこれが實地に取
かかられる筈で創立事務所
設置の必要に迫られた、め
この程協議の結果該事務所
は平町元郡衙跡所在各種團
体事務所が諸般の事務遂行
上好都合ならんとの議一決
したので縣當局に向つてこ
れが認可申請の手續きを取
る事となつた

平署税額決定

平税
務署管内における第三種所
得税及營業收益税は過般夫

れ々決定されたが税額は所
得税九萬八千九百三十六圓
人員千三百十三人で田畑所
得減少の結果前年に比し税
額一分六厘人員百二十六百
減少である

石城郡下今年度 無教育は貧困者に

壯丁の教育程度

石城郡教育會では先般行
はれた石城郡内壯丁千七百
八十名の教育程度其の他を
詳細に調査中であつたが、
それによると尋常小學校を
卒業しないものは三百四十
二名の多數に達し、卒業し
たものは三百九十六名であ
る、而して高等小學校を卒
業したのは六百六十六名で
尋卒の約二倍の多きに昇つ
てゐるが更に尋常小學校の
所謂義務教育を終えないも
の、理由を調査すると貧困
に原因するものは最も多く
二百六十九名で内郷村の四
十三名が筆頭で泉、渡邊、
永戸、三坂、平窪等各村に
は殆んどなく、貧困者は炭
礦所在村に多い、白痴その
他の故で卒業しない者は僅
に十名である、學術試験の
成績を見ると尋常小學校卒
業者は満點の者多く高等小
學校、實業補習學校を終つ

變幻自在な

平ぐもの一と暮
人々を食つてゐる札番共
去る六七の二日間日本少
女歌劇と銘打つて平町聚
楽館の開場初日當夜から
旅の札番共が木戸口の一
人の觀客をおつ取りまい
たつたならぬ騒ぎが持上
らうとしてゐる、相手の
客は誰であらう猪狩平署長
さて其開演の次第は、同
興行其筋の許可に料金を
戸銭一等五十銭二等卅銭
小人廿銭其他一切申受け
すことある、話かはつて此
一行は水戸市でも料金不
正收受の事實ありと聞い
た同署長わざ／＼私服姿
で大枚卅銭奮發して偵察
を試みたものだ、所が案
の條卅五銭だとして來た

耳の兎

人間同様に稼ぐ
最近長足の進歩を
遂げたロボット自
動人形は益々精巧
の度を加へ目下レミントン
武器會社が製造中の新發聲
自動人形の如きは店先に陣
取つてお客さんに品物も渡
し一定の文句を喋つて御愛
嬌を振りまくといふ丸で人
間と變らない素晴らしいも
ので愈々これが賣出のため
主要自動拳銃會社合資下資
本金二千五百萬弗の新會社
が組織された



野菜の保存法

馬鈴薯は必ず暗い緑の下な
どにおくとよく持つ。殊に

お医者

の種明しの
やうですがお医者様はこれら
の何れかの薬に乳糖を少し
混じて下痢剤としてゐます
下痢止めの分量は大人は一
回〇五グラム乃至一グラム
が適量です。小兒の服薬分
量は子供の年齢に十二を加
へた數を分母とし子供の年
齢を分子にした數を大人の
服用分量に乗すれば計算出
來ます。たとへば

四歳の

小兒ならば
大人の服用分量の十六分の
四です
(關内藥局主藥劑師關内榮
助氏談)

勝浦沖合に 鯉の大群

磐城丸の報告

縣水産試験場磐城丸は第三
回鯉漁場調査として去月二
十八日小名濱出帆二十九日
午後からさる二日に至るま
で館山及三崎方面にて餌料
を求めたが不足なので漸く
三日館山を出帆し漁場に向
つたその調査報告左の如く
である

平町人事

出生
△立町五一 秋本龜七長男成治
△仲町七二 岡定時(四二)

死亡

△立町五一 秋本龜七長男成治

胃腸病藥數種 關內藥劑師談

これからの
季節は消化
器病シーズ
ンとも云は
るゝので家
庭に必要な
胃腸病藥に
ついて申し
上げれば、その種類は數へ
切れぬ程ありますが、その
本を尋ねますと、藥局方で
定められてゐる局方藥中の
バンクレーヤンやヂヤスタ
ーゼを
原料に したものが
多いのです、バンクレーヤ
ンは魚獸肉類の蛋白質の消
化を促すことに非常に効目
があります、又副作用とし

効目も

あります、
但し乳呑兒の胃腸藥には含
糖ペプシンを用ふるとよろ
しいのです、下痢劑にヒマ
シ油の良いことは皆様御存
じの通りです、大人がヒマ
シ油を用ふる時には一回二
十五グラムが適量です。こ
れとは反對に一般の下痢ど
め劑にはタンニン酸アルブ
ミン(又タナルビンとも云
ふ)次硝酸蒼鉛が最も良い

ては澱粉と脂肪の消化も良
くします。次にヂヤスタ
ーゼは澱粉の消化劑として特
効があります、ですからこ
れらの藥を食後〇五グラム
程服用するのが經濟でもあ
り